

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)

【公開番号】特開 2002-354549 (P2002-354549A)  
 【公開日】平成 14 年 12 月 6 日 (2002.12.6)  
 【出願番号】特願 2002-70748 (P2002-70748)  
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 Q 7/38

H 0 4 M 3/42

H 0 4 M 3/54

【F I】

H 0 4 Q 7/04 F

H 0 4 M 3/42 U

H 0 4 M 3/54

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 12 月 28 日 (2004.12.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

呼びを転送する方法であって、

(A) 移動体がサービス外に出たことを検出するステップと、

(B) 移動体がサービス外に出た時に、移動体に向けられた電話の呼びを転送先の電話に自動的に転送するステップと、  
 を有することを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記 (A) のステップは、

(A1) 移動体の電源が切られてることを検出するステップとを有することを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記 (A) のステップが、

(A2) 移動体が所定のサービスエリア内にいないことを、検出するステップとを有することを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

(C) 移動体がサービス内に入ってくることを検出するステップと、

(D) 呼びを転送先の電話に転送することを自動的に中止するステップとをさらに有することを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】

前記 (A) ステップが、

(A3) ページングメッセージを移動体に送信するステップと

(A4) 所定の時間内に前記ページングメッセージに対する応答を受信しない時に、移動体はサービス外に出たと決定するステップとを有することを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 6】

前記 (A3) のステップが、周期的な時間ベースで行われることを特徴とする請求項 5

記載の方法。

【請求項 7】

移動体に向けられた呼びを自動的に転送する方法であって、

(A) 移動体と関連付けられた呼び転送番号を記憶するステップと、

(B) 移動体がサービス外にある時に、移動体へ向けられた呼びを、呼び転送番号に自動的に転送するステップと、

を有することを特徴とする移動体に向けられた呼びを自動的に転送する方法。

【請求項 8】

前記 (B) ステップが、

(B1) 移動体の電源が切られてることを、検出した時に移動体に向けられた呼びを自動的に転送するステップを含むことを特徴とする請求項 7 記載の方法。

【請求項 9】

移動体に向けられた呼びを自動的に転送する方法であって、

(A) 移動体に向けられた呼びのリクエストを受領するステップと、

(B) 移動体がサービス中か否かを決定するステップと、

(C) 移動体がサービス中でないと決定される場合に呼びのリクエストを転送先の電話に自動的に転送するステップと、

を有することを特徴とする移動体に向けられた呼びを自動的に転送する方法。

【請求項 10】

前記 (B) ステップが、

(B2) 移動体に関連する加入者記録内のフィールドをチェックするステップを有することを特徴とする請求項 9 記載の方法。